



The Heart of Industry

IWAKI

2019年3月期 第2四半期決算説明資料

2018年11月16日

株式会社イワキ

証券コード：6237
銘柄名：イワキポンプ

目次

- I. 2019年3月期 第2四半期決算概要 ……P 3
- II. 2019年3月期 業績見通し ……P12
- III. 種蒔期～育成期 中期経営計画について ……P18





2019年3月期 第2四半期決算概要

(百万円)

	2018/3期2Q	2019/3期2Q	
		金額	前年同期比
売上高	13,435	14,704	+9.4%
売上総利益	4,516	5,135	+13.7%
(粗利率)	(33.6%)	(34.9%)	(+1.3pt)
営業利益	1,015	1,209	+19.1%
(営業利益率)	(7.6%)	(8.2%)	(+0.6pt)
経常利益	1,354	1,533	+13.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,016	1,068	+5.1%
1株当たり 四半期純利益(円)	※45.26	47.55	+5.1%
為替レート	ドル	112.34	108.68
(期中平均)	ユーロ	121.66	131.55

1 売上高は前年同期比プラス

- ✓半導体・液晶市場、医療機器市場への設備投資がけん引し、前年同期比増
- ✓アジア地域は現地2Qまでの半導体・液晶市場の活況で増加
- ✓中国は、引続き医療機器市場の需要増
- ✓欧州地域は、水処理市場、化学市場の需要拡大

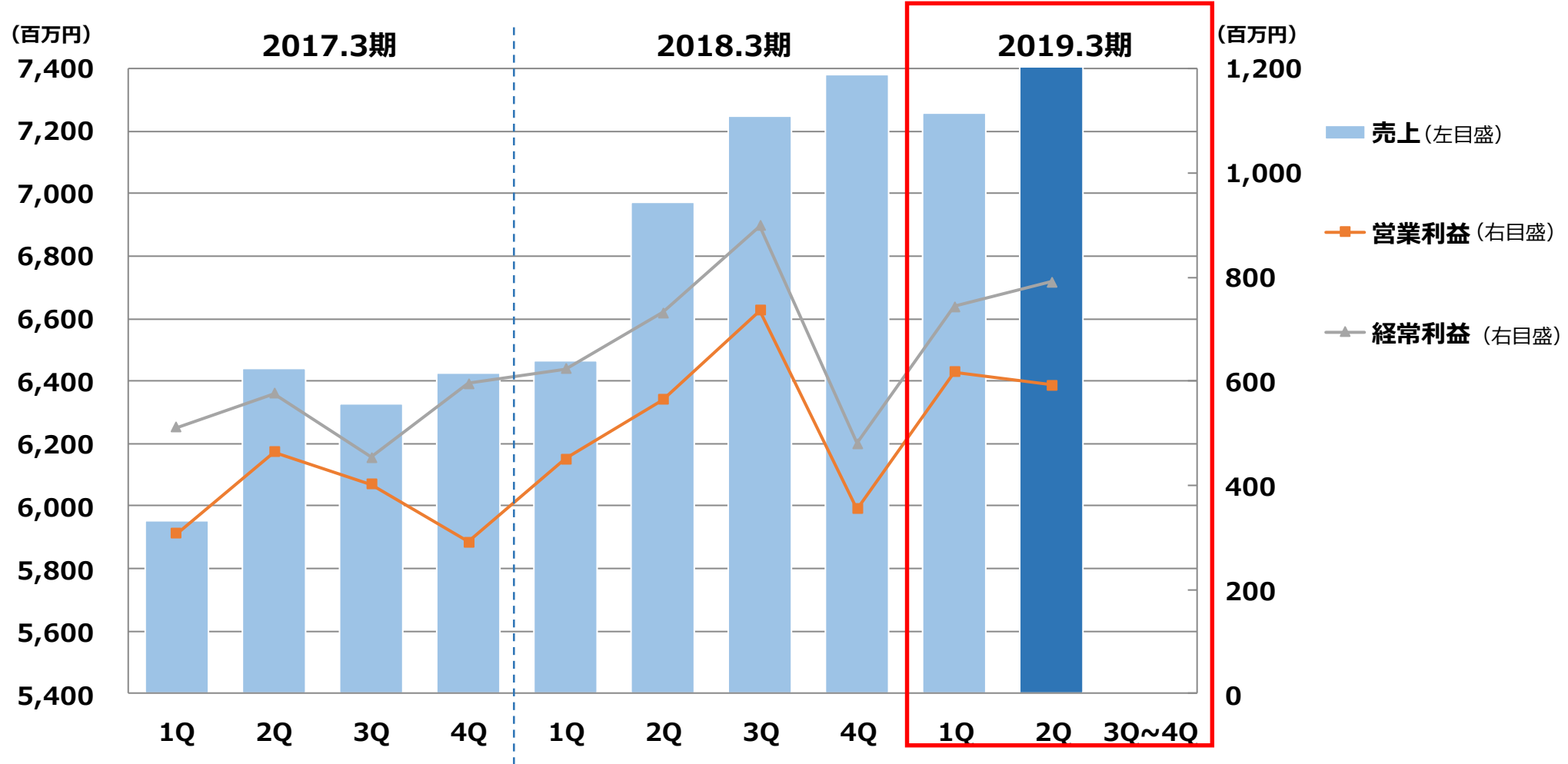
2 営業利益は前年同期比約2割増

- ✓売上増による増収効果
- ✓利益率が良い主力製品であるマグネットポンプの好調な伸び

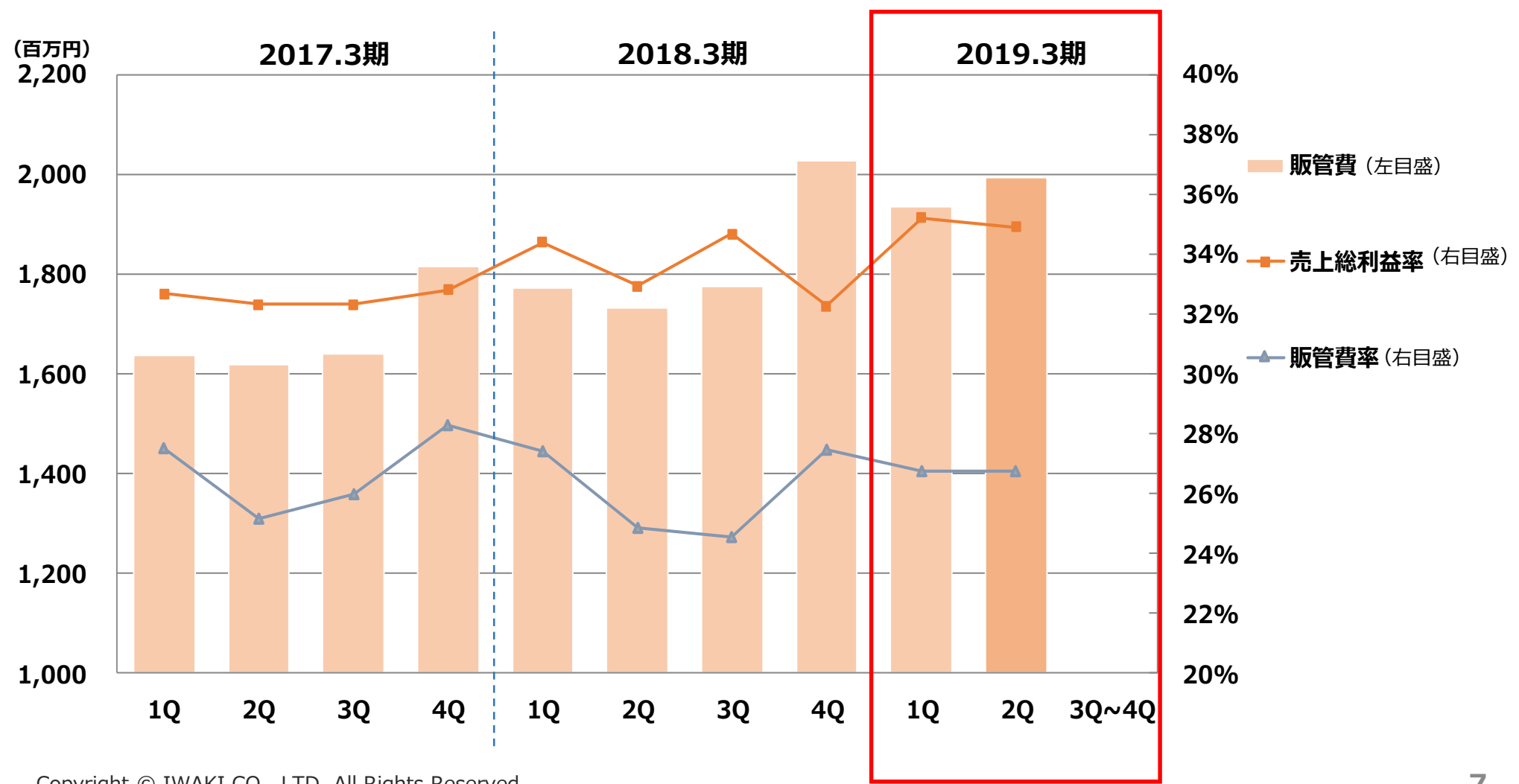
3 経常利益以降の段階利益も前年同期比プラス

- ✓前年同期の特殊要因（為替差益）が消え、加えて技セン移転費用発生するもアジア中心に関係会社の好調が続き、経常利益は2桁増
- ✓法人税等が連結調整等により、前年同期比増で四半期純利益は1桁増

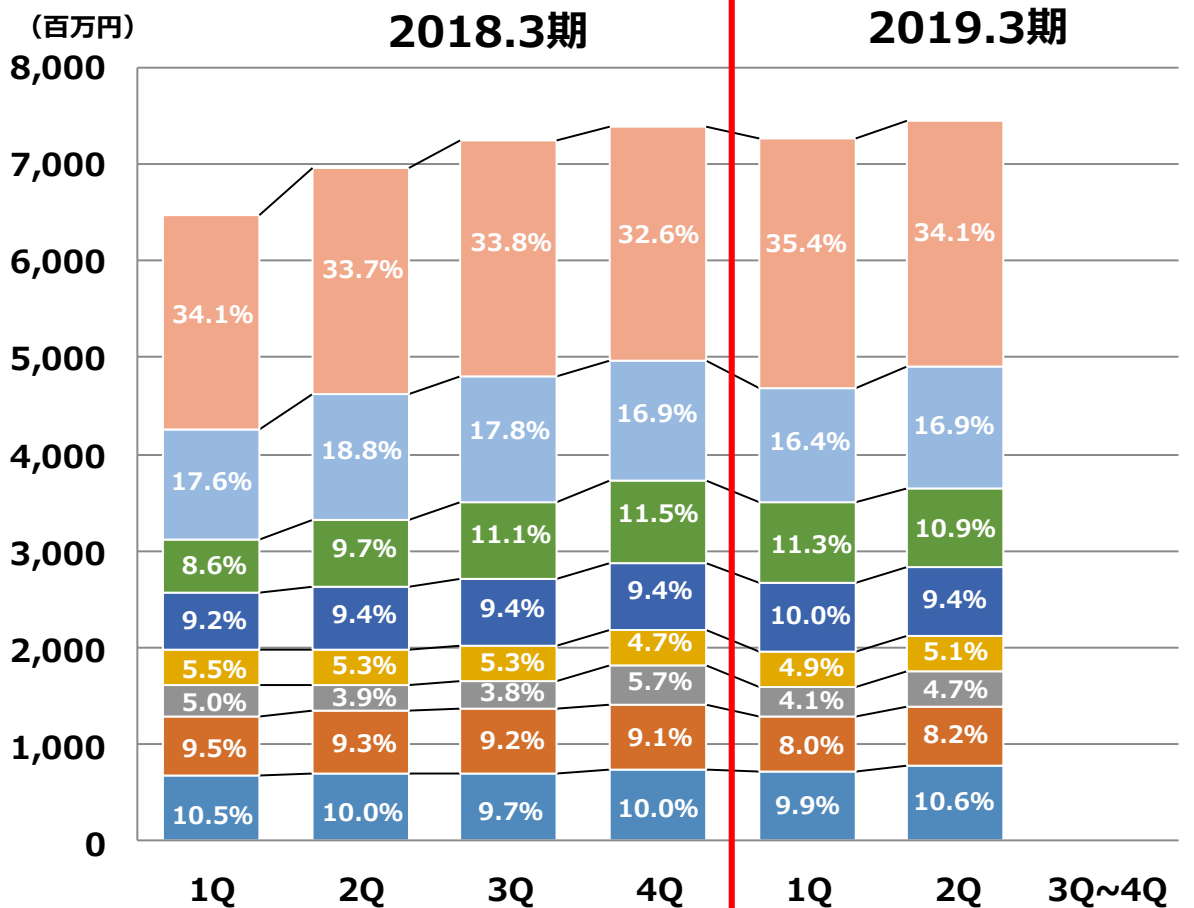
医療機器市場向け等がけん引し、売上、段階利益ともに好調



粗利率は好調維持するも、販管費率共に1Q比横バイ

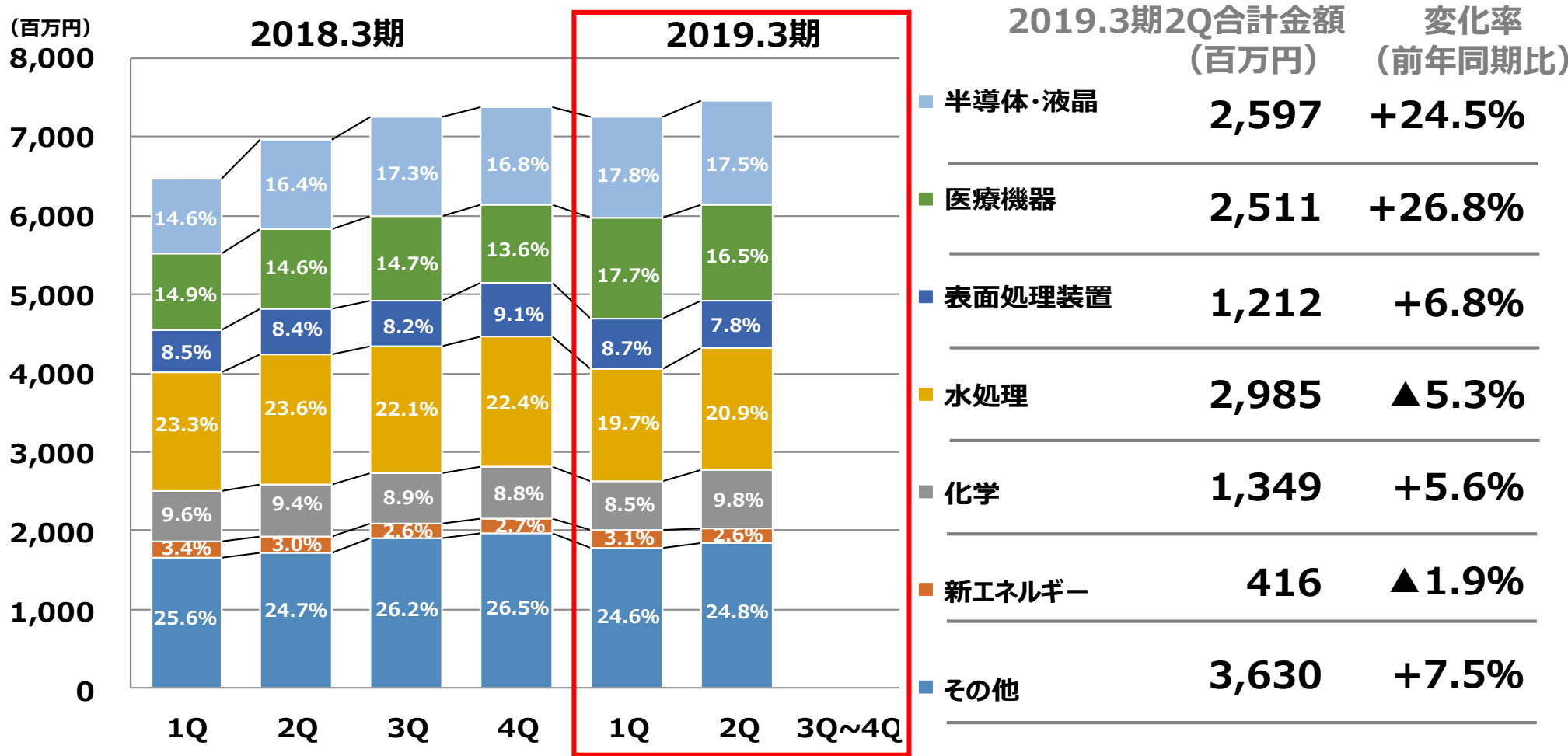


空気駆動ポンプは続伸、マグネットポンプ、回転容積ポンプも好調

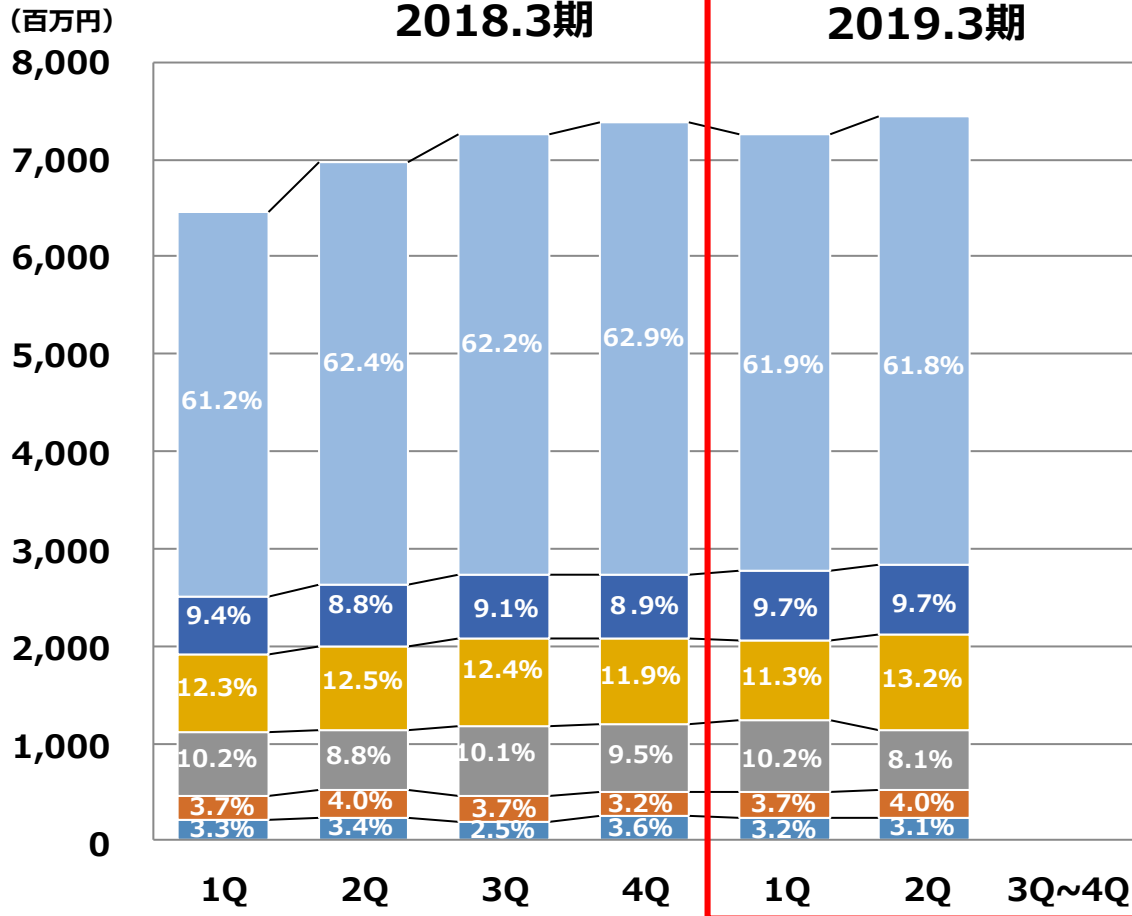


	2019.3期2Q合計金額 (百万円)	変化率 (前年同期比)
■ マグネットポンプ	5,107	+12.2%
■ 定量ポンプ	2,450	+0.1%
■ 空気駆動ポンプ	1,636	+32.9%
■ 回転容積ポンプ	1,423	+14.1%
■ エアポンプ	738	+1.4%
■ システム製品	650	+9.4%
■ 仕入商品	1,188	▲5.5%
■ その他	1,508	+9.6%

半導体・液晶、医療機器が大幅増、表面処理装置、化学も順調



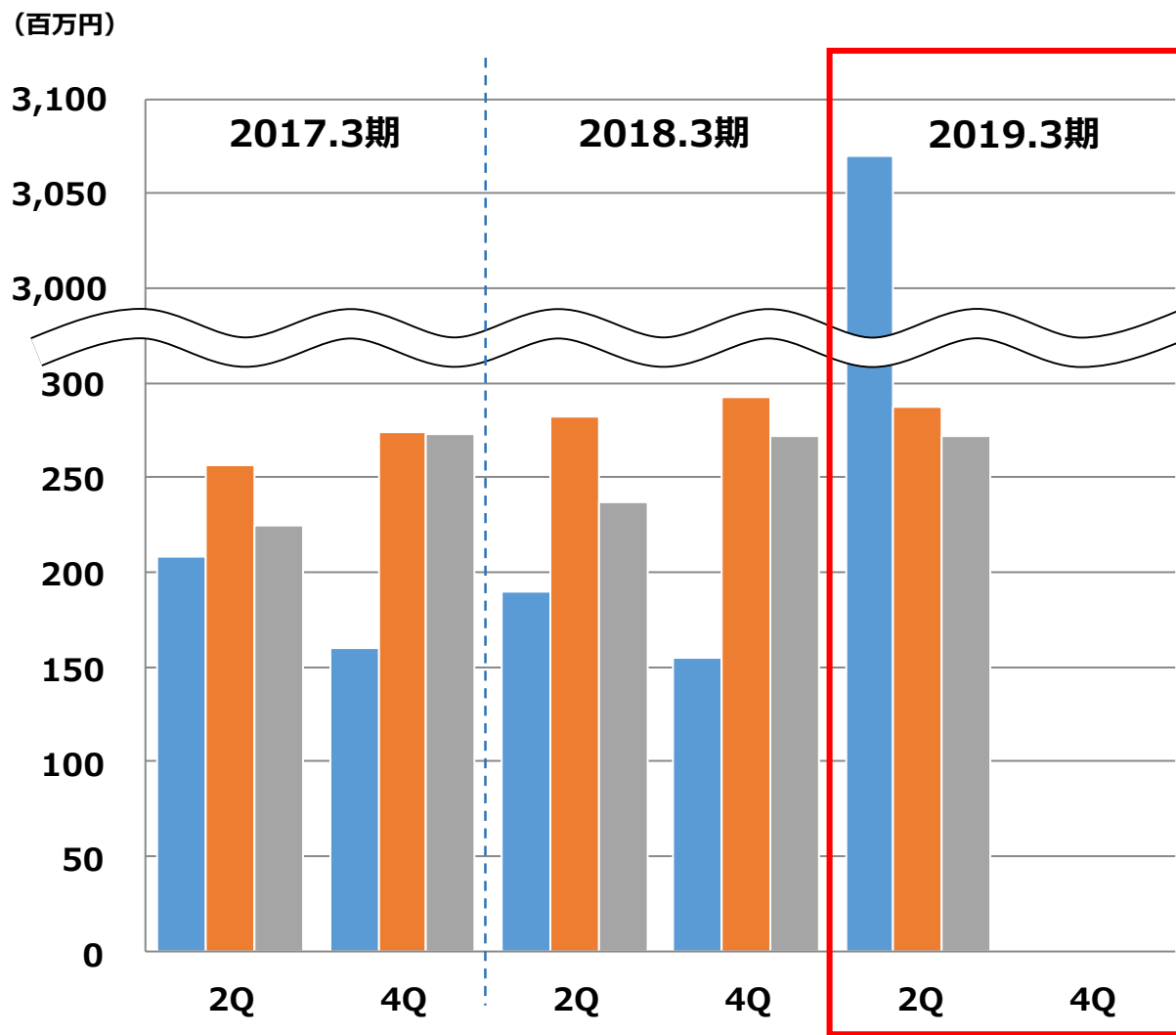
欧は好調、他海外及び国内も引き続き順調



	2019.3期2Q合計金額 (百万円)	変化率 (前年同期比)
■ 日本	9,096	+9.5%
海外計	5,608	+9.3%
■ ヨーロッパ	1,427	+16.8%
■ 米国	1,803	+8.1%
■ アジア	1,345	+6.0%
■ 中国	566	+9.5%
■ その他	465	+2.6%

海外売上高比率 **38.1%**

設備投資・研究開発費・減価償却費推移 (半期毎)



2019.3期2Q合計金額 増減額
(百万円) (前年同期比)

■ 設備投資 ※ **3,070** **+2,879**

■ 研究開発費 **287** **+5**

■ 減価償却費 **272** **+34**

※ (新) 技術センター分
28億62百万円を計上



2019年3月期 業績見通し

(百万円)

	2018/3期		2019/3期 (予想)	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	28,067	+11.6%	29,907	+6.6%
売上総利益	9,409	+15.1%	10,490	+11.5%
(粗利率)	(33.5%)	(+1.0pt)	(35.1%)	(+1.6pt)
営業利益	2,106	+43.8%	2,369	+12.5%
(営業利益率)	(7.5%)	(+1.7pt)	(7.9%)	(+0.4pt)
経常利益	2,733	+27.9%	2,938	+7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,059	+21.8%	2,113	+2.7%
1株当たり 当期純利益 (円)	※91.72	+21.8%	94.05	+2.5%
為替レート (期中平均)	ドル	112.17	111.00 <想定レート>	
	ユーロ	126.70	128.00 <">	

1 売上高は前年比プラス予想

- ✓国内及び中国の医療機器市場の需要増の予想
- ✓米国向け水処理市場は前年並みを維持し堅調な見込み
- ✓アジア向け輸出は現地3Q以降の半導体の設備投資延期を受け、軟調な展開を予想

2 増収効果で営業利益率は改善、上昇予想

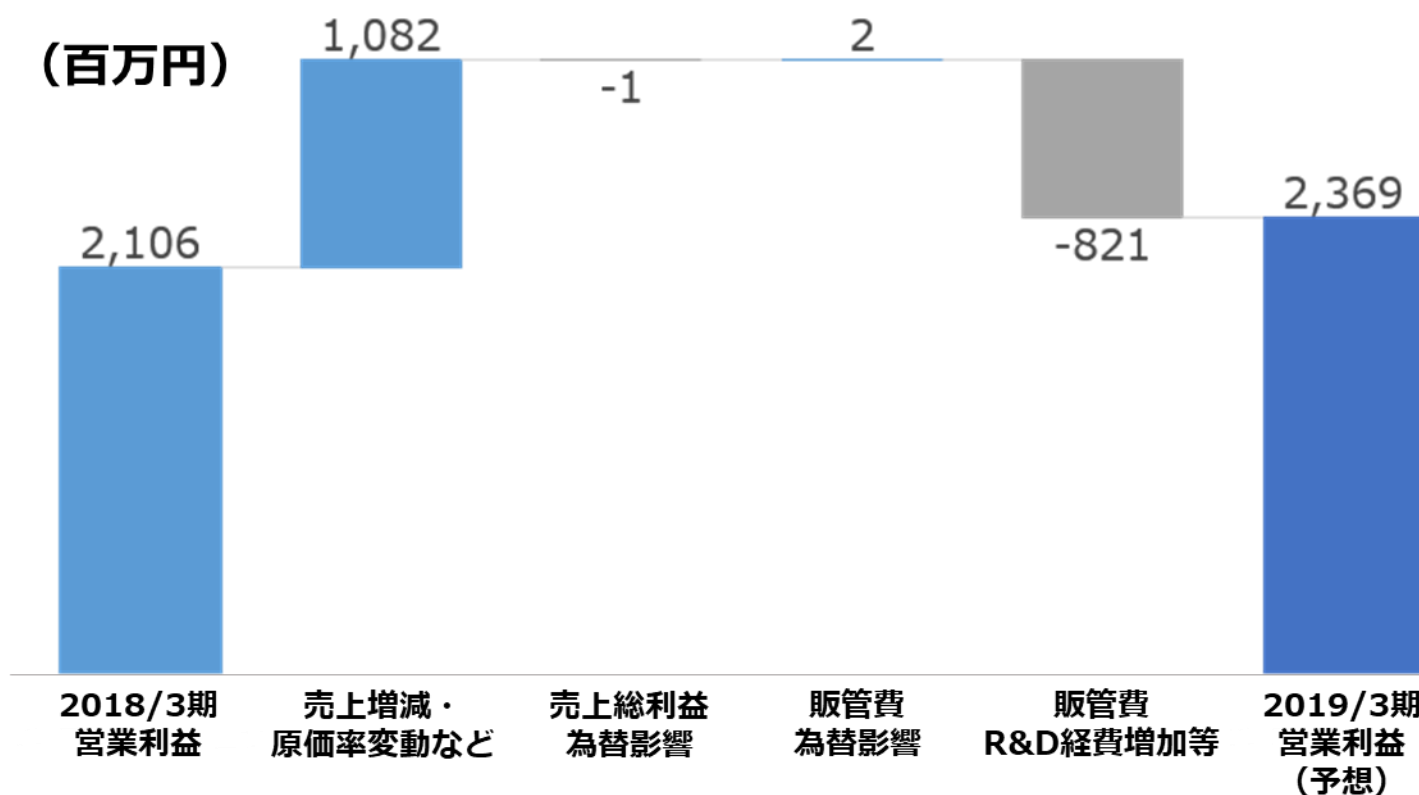
- ✓増収効果で営業利益も前年比2桁増
- ✓独アハマ国際見本市出展や（新）技術センター稼働による特殊要因（販管費増）あるも、売上製品MIXも順調で通期では営業利益率が向上

3 経常利益以降の段階利益も前年比プラス

- ✓前年の為替差益が消えるも、関係会社からの投資利益は順調に増加
- ✓アジア関係会社は現地上期の業績が寄与するも下期は減少

(単位：千円)

為替1円当たりの感応度	\$ (USドル)	€ (ユーロ)
売上	44,224	19,035
営業利益	11,593	10,094



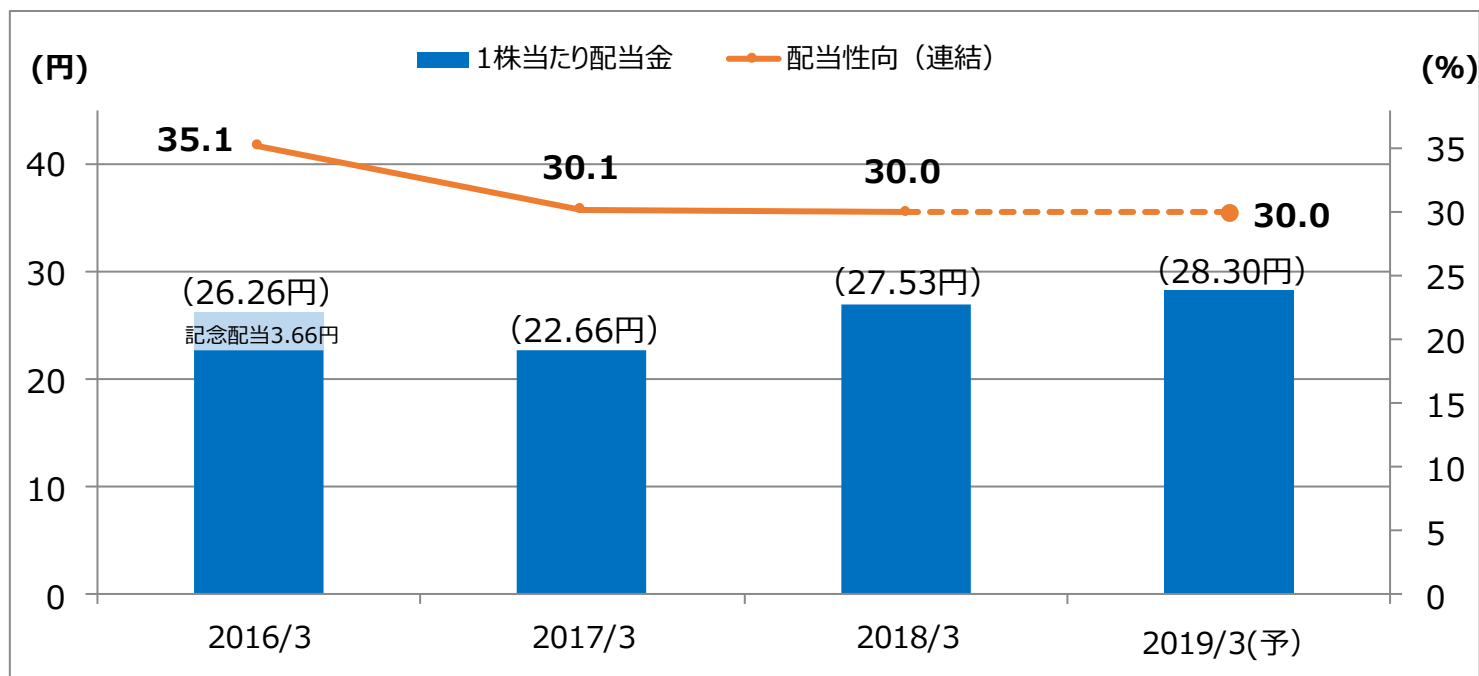
【市場環境の想定】

各市場	国内	海外
水処理市場	<ul style="list-style-type: none"> 水質管理は温浴・水耕・土耕装置が堅調 水処理プラントは低調 	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌、薬液供給が堅調
半導体・液晶市場	<ul style="list-style-type: none"> 製造装置メーカー向け堅調 	<ul style="list-style-type: none"> アジアへの投資が一時的に停滞
医療機器市場	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析装置、臨床検査装置、内視鏡洗浄装置向けが堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 中国向け生化学・免疫分析装置が堅調
新エネルギー市場	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用燃料電池が横ばいで推移 	<ul style="list-style-type: none"> アジアの二次電池の設備投資が旺盛 欧州の風力発電の需要低調
化学市場	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値製品の開発、製薬会社の投資需要継続 	<ul style="list-style-type: none"> 中国半導体向け純薬設備の投資拡大 自動車産業向け化学製品等は堅調
表面処理装置市場	<ul style="list-style-type: none"> 車載・IoT市場向けなど高付加価値電子部品の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッドやEV自動車生産増により堅調

※ 各市場の太字は当社強化市場

<基本方針>

- ・配当性向30%超
- ・継続的な配当



(注) 前三期は株式の3分割を考慮し、算定しています。(小数点第三位以下は切捨)



種蒔期～育成期 中期経営計画について



1 10年ビジョンの概要

2016/3期

2017/3期

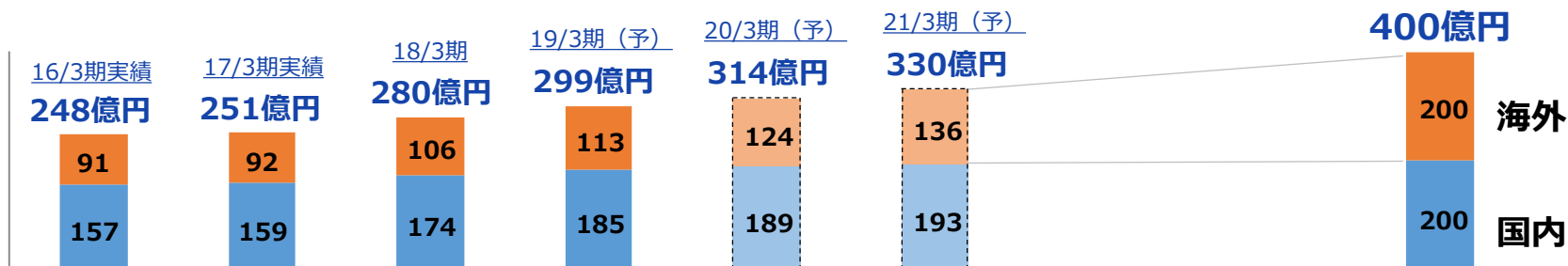
2018/3期

2019/3期～2021/3期
種蒔期～育成期中期経営計画期間

2025/3期

連結売上高

定量目標



6.1% — 5.8% — 7.5% — 7.9% — 9.3% — 10.2% — 営業利益率 → 10.0%

※オレンジ色は予想

定性目標

オールイワキで世界No.1を提供する

～ グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供する ～

目標を達成するための姿勢「チェンジ&チャレンジ」

～ 変革と挑戦に躊躇しない企業文化の定着を目指す ～

今中期経営計画は、10年ビジョン達成に向けた種蒔期～育成期

収益基盤の再構築・整備～本格運用

- 10年ビジョン定量目標を達成するための基盤構築・整備～本格運用
- 10年ビジョン定性目標に向けてのベクトルの統一化と、「チェンジ&チャレンジ」の企業風土の浸透
- 持続的な企業価値向上に視点を置いた経営の推進

- 10年ビジョン達成に向けたステップ

種蒔期～育成期



3 種蒔期 中期経営計画の主な進捗状況

		具体的計画の主な進捗状況	達成状況	今後の課題
国内営業		競合のSWOT分析を関連部門で共有化し、リプレイス	○	継続強化
		ソリューションビジネスの定着化のため、システム販売推進 メンテナンスとの協業に依り差別化推進	△	関連部門の連携強化によるIoTの推進 シミュレーションテスト設備の充実化
		市場要求（納期）対応のため、短納期施策を実施	○	対応機種拡大
海外強化市場 （新規事業）	米国	水処理市場（飲料水・食品業界）の深耕 アクアティック事業※1の深耕	△	コントローラ販売チャネル強化 （欧・アジア・新興国市場）
	欧州	化学・化工機プラント市場の攻略	▲	全欧州にIE※2の販売戦略の浸透 水処理市場の競合対策
	アセアン	アセアン共通モデルの投入、統括本部設置と 域内物流コントロール拠点の構築～整備	×	販売地域の整備、販売体制の確立 強化市場を継続推進
	中国	医療機器市場を開拓	△	新エネルギー・水処理市場の販促強化
投資		IE※2生産設備投資実施、中国生産委託会社の開拓及び 部材調達を拡大	△	IE※2の設備投資を継続。中国での 委託会社開拓と部材調達拡大を継続
		業務提携、ポンプ周辺事業のM&Aを推進	▲	継続して検討中

※1：小型魚類飼育水槽システム

※2：IWAKI Europe GmbH（欧州子会社）

達成率

○：70%以上 △：70%未満～50%以上

▲：50%未満～20%以上 ×：20%未満

(百万円)

	2019/3期(予算)		2020/3期(計画)		2021/3期	
		前年比		前年比	計画	前年比
売上高	29,907	+6.6%	31,428	+5.1%	33,016	+5.1%
売上総利益	10,490	+11.5%	11,236	+7.1%	11,893	+5.8%
営業利益	2,369	+12.5%	2,936	+23.9%	3,384	+15.3%
(営業利益率)	(7.9%)	(+0.4pt)	(9.3%)	(+1.4pt)	(10.2%)	(+0.9pt)
経常利益	2,938	+7.5%	3,518	+19.8%	3,967	+12.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,113	+2.7%	2,599	+23.0%	2,896	+11.4%

1 今期前半の半導体・液晶市場の活況が寄与し、通期売上高は前期比+6.6%成長の見込み。来期以降は国内は堅調な伸び、海外、米は好調、欧は順調な成長を見込む。

2 来期以降の段階利益は、国内は増収効果に加えて米国子会社の好調な増収計画により、営業利益率は順調に上昇の見込み。
アジア関係会社等からの持分法投資利益は、今下期落ち込むも来期以降回復し横バイの見込み。

3 種蒔期～育成期に移行し、中国での部材調達に加えて、生産委託先を拡大予定。
対象製品を広げ、コスト削減の見込み。流通経路の簡略化で納期短縮を実現予定

基本方針 1

強化市場への経営資源の優先投入

- ・ 水処理市場 → テクノエコー効果・活用
- ・ 医療機器市場 → 海外新規OEM・新製品
- ・ 新エネルギー市場 → 二次電池製造・大型蓄電池設備

基本方針 4

海外戦略地域の統括運営

- ・ アセアン地域プロジェクト → 次のステージへ推進
- ・ 欧州地域 → 準備期間
- ・ ITインフラ整備 → 早急な対応が必要

10年ビジョン達成

基本方針 2

課題解決型ビジネスの展開

- ・ 顧客対応力の強化 → 短納期プロジェクト・IoT対応
- ・ 顧客情報の統合 → 営業情報とメンテナンス情報
- ・ システム展開 → 事業と技術の幅を広げる

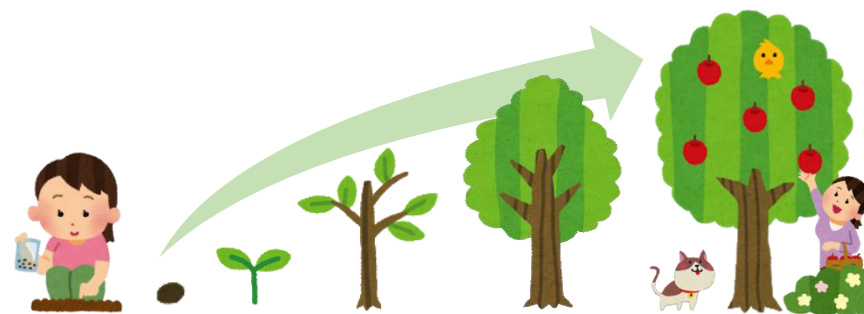
基本方針 3

新規事業のビジネスモデル構築

- ・ アクアティックプロジェクト → 米国市場拡大
- ・ 海外システム・メンテナンスの推進
→ 欧州地域にモデル構築・事業化研究
- ・ 中国調達拡大 → 生産委託の活用と地産地消

国内営業

- 競合リプレイス需要の獲得（CSの向上）
- ソリューションビジネスの定着化と深耕
- 市場要求(製品、部品、納期等)対応
- 顧客向けIOTの推進



海外各市場における強化市場（新規事業及び注力市場）

- 米国…水処理、医療機器、（アクアティック事業、化学・化工機プラント）
- 欧州…水処理、化学・化工機、冷却、（アクアティック事業）
- アセアン…水処理、表面処理装置、化学、医療機器、（アクアティック事業）
- 中国…医療機器、新エネルギー、水処理
- 韓国・台湾地域…水処理、新エネルギー

投資について

- 欧州子会社生産設備の強化、中国生産委託会社の拡大、物流関連強化
- 事業の拡大に向けた業務提携、M&Aの検討

7 TEC (テクノエコー) とのシナジー効果

電磁定量ポンプ
当社



連携

テクノエコー
残留塩素計



既存市場の拡大

- オリンピックに向けホテル建設ラッシュ
- 温浴施設での残留塩素計の需要拡大

ユーザー(お客様)

クロスセルを展開
シナジー効果

新たな市場での実績

- 小型残留塩素計
- 福祉市場 (介護風呂) の需要拡大
- 医療機器市場 (医療機器組込型) の需要増

部材調達を拡大

- 中国国内での部材調達を拡大中
- 製造原価ダウンと日本同等品質の維持



生産委託会社が本格稼働

- 生産委託を2019年春に稼働開始予定
- 地産地消の推進



生産委託先の開拓

- 複数の生産委託先で展開予定

売上原価低減
 流通経路の簡略化
 委託生産品目の拡大

グローバルモデルの立案・推進

- グローバルモデルの開発推進
- 米国と日本の役割分担の明確化
- 開発導入製品のグローバル市場投入



分業と協業化

- 米国と日本市場における情報の共有化
- 使用可能部材の共有化
- 日本、米国以外の市場へ参入
事業ブランドを統一し、世界へ展開



日本市場の拡大

- 医療・医薬分野での応用
- 米国技術のフィードバック ▶▶▶ 国内外の競合他社製品との差別化

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2018年11月16日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問合せ先】

E-mail : ir@iwakipumps.jp
TEL : 03-3254-2931
受付時間 : 9時～17時30分